

今月の

「心にひびく言葉」

漫画「ドラゴン桜」 桜木健二 の言葉

「ドラゴン桜」は三田紀房により描かれ、日本はもとより韓国でもドラマ化された人気漫画。原作の中ではさまざまな受験テクニックや勉強法が紹介され、受験業界で話題を呼んだ。主人公の弁護士・桜木健二が、経営破綻状態となった私立龍山高等学校の進学実績、それも東大の合格者数を上げることをきっかけとして再建に挑むストーリー。この言葉は桜木より東大の何学部を受験するのかについて初めて語られた際の言葉。誰しも「夢をつかむチャンス」があるはず。それに気づき飛び込んでいけるかどうかで、未来は大きく変わります。目の前の「成長するチャンス」、「がんばるチャンス」を逃さずにまずは一歩踏み出しましょう！

目の前にチャンスがあるのに、
飛び込まないゆづがどこにいる。

2026-6